「奈良県社会福祉法人共同事業（まほろば幸いネット）」の運営の仕組み（組織体制と機能）

運営理事会

会長

副会長

副会長

（2名）

理事

理事

理事

理事

（4名）

参与（県健康福祉部長）

意思決定／運営統括

企画提案

統括検証

事務局（県社協）

コーディネート

総合企画チーム

※発起人会のメンバーを移行、アドバイザー（県地域福祉課長）
※実務者チームの活動のとりまとめと、運営理事会に諮る重要事項について、総合調整を行う

実務者チーム（ワーキンググループ）

構成；加入法人の中から選出された実務者、事務局（県社協）、アドバイザー（県）
※テーマで希望を募り、分野横断型で編成
機能；モデル事業の企画立案、実践
役割；運営理事会から提案された具体的なテーマごとにチームを編成
①テーマに沿った課題の共有化を図る
②解決に向けた支援策の企画・立案・実践を行う

チーム①
まほろばレスキュー事業

チーム②
まほろばユニバーサル就労事業

チーム③
まほろば地域食堂事業

具体的事業の立案と実践

ニーズ集約

地域共同

圏域ネットワーク会議

構成；各市町村域及び圏域の加入法人を核として、必要に応じて、管内の行政・関係機関・地域活動団体等・アドバイザー（事務局・県）
機能；ニーズ把握とネットワークづくり ★可能な圏域から順次取り組んで行く
役割：①各地域の特性に応じた形で、関係者の学習や交流の場を持ち、互いに顔の見える関係づくりを行う
②既存の制度では対応しきれない地域ニーズや課題の把握、集約・提案
③実務者チームで企画・立案された具体的な実践の展開に、地域で協力・協働していく
※市町村社協等がコーディネート機能を発揮する

ネットワークとニーズ把握